

上下水道局のSDGsへの取り組み



このマークを見たことがありますか？



SDGs (持続可能な開発目標: Sustainable Development Goals) って？

2015年に国際連合で、すべての加盟国(193カ国)が賛成して決めた「2030年までの世界共通の目標」です。

私たちがこれからもずっと笑顔で元気に暮らしていける世界を作れるように、17の目標が定められています。目標を達成するためには、世界中の全ての人々が力をあわせていかなければなりません。

北九州市は、2018年に国から「SDGs未来都市」に選定されました。市役所だけでなく、企業や学校、市民のみなさんとお互いに協力しながら、SDGsの達成に向けて取り組んでいます。

高校生が北九州市の姉妹都市・ベトナム・ハイフォン市で現地の水環境や上下水道局の活躍を勉強して、市民の皆さんの前で発表しました。



上下水道局では、世界の水環境をよくするためのお手伝いをしています。

不衛生な水のために重い病気になったり、水汲みの仕事のために学校に行けなかったりする子どもがいる地域が世界にはまだたくさんあります。そのような地域の水環境をよくするお手伝いも上下水道局の仕事です。海外からたくさんの方が北九州市を訪れ、北九州市の進んだ技術を勉強したり、上下水道局の職員が海外に出向いて、現地の人たちと、どうしたらよくなるか、一緒に考えたりしています。

《カンボジアの水環境》



下水処理場がないため、不衛生な水が川に流れ込んでいます。

水道が未発達な地域では水汲みは主に子どもや女性の仕事です。そのため、学校に通えない子どもがまだいます。

水道が使えるようになり、衛生的な生活ができるようになります。学校に行って、勉強をすることができるようになります。

北九州市で学ぶ研修生の声 ～きれいな水は命を救う～

北九州市は、プノンペンと比べると、とても便利で、清潔な街だと感じます。特に交通事情がよいですね。

今、プノンペンは日本から学んで、大きく発展しようとしています。

北九州市での研修では、きれいで、豊富な水を安定的に供給できる技術や知識を数多く学びました。母国に戻り、北九州市での経験を活かしていきます。

モン・テイトさん カンボジア・プノンペン水道公社から北九州市上下水道局へ派遣(2018年5月～11月)